・９　外国語

学校番号	T1208

平成31年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	1	第2学年	教科書：Revised COMET English Communication Ⅰ (数研)

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

コミュニケーション英語Ⅰの授業は，「話すこと」，「書くこと」，「聞くこと」，「読むこと」という４技能の力をつける授業です。そのため，聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行います。授業では積極的に活動に参加しましょう。

２ 学習の到達目標（CAN-DOリストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第１学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書，教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・アクセントやイントネーションに注意しながら正確な音を発することができる。 ・決まった表現や形式を用いて，日常の挨拶ができたり，身近なことがらについての質問に応えることができる。	・音読ﾃｽﾄ ・ﾍﾟｱﾜｰｸ ・ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ ・ｲﾝﾀﾋﾞｭｰﾃｽﾄ	・アルファベット，ヘボン式ローマ字の大文字・小文字を区別して書くことができる。 ・基本的な単語や句を正確に書くことができる。 ・自分自身についての基本的な情報（名前，誕生日，年齢など）を書くことができる。 ・すでに与えられてある単語や表現，文法事項の知識を活用してごく簡単な英文（１～２文）を書くことができる。	・ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ活動 ・ﾌﾟﾘﾝﾄ点検 ・定期考査	・アルファベットを聞いてどの音か区別することができる。 ・ゆっくりはっきり話されれば，「立て」「座れ」「静かに」などの短い簡単な指示を理解することができる。 ・ジェスチャーを用いて，ゆっくりはっきりと発音されれば，身近な単語や表現からなる１～３文程度の英文を正確に聞き取り，意味を理解することができる。	・ﾘｽﾆﾝｸﾞ活動 ・ﾘｽﾆﾝｸﾞﾃｽﾄ	・音で知っている単語を書かれているものの中から見つけ出すことができる。 ・日常生活で使われる非常に簡単な指示（「立入り禁止」や「足元注意」など）やレストランなどのメニューの大枠の意味を理解することができる。	・音読活動 ・音読ﾃｽﾄ ・定期考査

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち，積極的に言語活動を行い，コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DOリストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DOリストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに，その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。				

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 Moving As One 一体となって動く	鳥や魚の群れの動きのルールとその産業界での応用例 受け身	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		鳥や魚の群れやその行動ルールが応用される分野について関心を持ち、積極的に聞いたり、読んだりしている。	教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。	鳥や魚の群れやその行動ルールが応用される分野について関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。	・ワークシート ・机間指導
		「外国語表現の能力」			
		本文の内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができる。	ペアで、ワークシートのキーワードを参考にして、鳥や魚の群れの行動ルールについての考えを伝え合う。	鳥や魚の群れの行動ルールについて、キーワードを使って実際に書いたり、伝えたりしているか。	・ペアワーク ・ワークシート
		「外国語理解の能力」			
		鳥や魚の群れの行動ルールがどのようなものかをペアで発表し合い、理解す	本文の音声やペアの発表を聞いて、ワークシートにメモさせる。	本文内容やペア活動で理解した知識を用いて、ワークシートに記述を行ってい	・ペアワーク ・ワークシート
		「言語や文化についての知識・理解」			
		受け身（be動詞＋過去分詞）について基本的な知識を理解する。	教科書本文の確認やその問題を用いて、日本語を確認しながら文法事項や場面を理解する。	本文中で理解した文法知識を用いて簡単な英文を作る。	・定期テスト

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 8 Convenience Stores: the Keys to Their Success コンビニエンスストア：その成功のかぎ	客に買ってもらうためのコンビニエンス・ストアの工夫とは 現在分詞・過去分詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		コンビニエンスストアの工夫について関心を持ち、積極的に聞いたり、読んだりしている。	教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。	コンビニエンスストアの工夫について関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。	・ワークシート ・机間指導
		「外国語表現の能力」			
		分詞(現在分詞/過去分詞)の基本的な用法を用いて、正しい文を書くことができる。	ワークシートのキーワードなどを確認し、本文中で理解した文法知識を用いて簡単な英文を作る。	本文中で理解した文法知識を用いて簡単な英文を作る。	・ワークシート ・定期考査

		「外国語理解の能力」			
		コンビニエンスストアの弁当や飲み物の商品配置と大きな窓がある意図や、陳列棚の工夫について理解できる。	教科書本文を確認し、ワークシートの質問に答え、ペアで確認する。	ワークシートにコンビニエンスストアの工夫についてまとめている。	・ペアワーク ・ワークシート
		「言語や文化についての知識・理解」			
		コンビニエンスストアや他の種類の店舗で、他にどのような工夫がなされているかについて知っている。	ワークシートを用いて、コンビニには他にどのような工夫があるのか考える。	ワークシートに記述を行っている。	・ワークシート

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 Malala Yousafzai: Education Can Change the World マララ・ユスフザイ：教育は世界を変えられる	17歳でノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさん ― 彼女が訴え続けるメッセージとは 比較	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		マララさんの行動・主張や学校教育の意義について関心を持ち、積極的に聞いたり、読んだりしている。	教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。	マララさんの行動・主張や学校教育の意義について関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。	・ワークシート ・机間指導
		「外国語表現の能力」			
		本文の内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができる。	ペアで、ワークシートのキーワードを参考にして、マララさんについて自分の考えを伝え合う。	マララさんの行動・主張や学校教育の意義、キーワードを使って実際に書いたり、伝えたりしているか。	・ペアワーク ・ワークシート
		「外国語理解の能力」			
		マララさんの行動・主張や学校教育の意義についての自分の考えをペアで発表し合い、理解する	本文の音声やペアの発表を聞いて、ワークシートにメモさせる。	本文内容やペア活動で理解した知識を用いて、ワークシートに記述を行っている。	・ペアワーク ・ワークシート
		「言語や文化についての知識・理解」			
		比較について基本的な知識を理解する。	教科書本文の確認やその問題を用いて、日本語を確認しながら文法事項や場面を理解する。	本文中で理解した文法知識を用いて簡単な英文を作る。	・定期テスト

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 10 Ando Momofuku: the Father of Instant Noodles 安藤百福：インスタントラーメンの父	インスタントラーメンを発明した安藤百福さん ― 彼のひらめきからカップ麺が誕生するまで 関係代名詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		安藤氏がカップ麺を開発した経緯や彼の商品開発に対する姿勢について関心を持ち、積極的に聞いたり、読んだりしている。	教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。	安藤氏がカップ麺を開発した経緯や彼の商品開発に対する姿勢について関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。	・ワークシート ・机間指導
		「外国語表現の能力」			
		関係代名詞(who/which/that)の基本的な用法を用いて、正しい文を書くことができる。	ワークシートのキーワードなどを確認し、本文中で理解した文法知識を用いて簡単な英文を作る。	本文中で理解した文法知識を用いて簡単な英文を作る。	・ワークシート ・定期考査
		「外国語理解の能力」			
		安藤氏がカップ麺を開発した経緯や、彼の商品開発に対する姿勢について理解できる。	教科書本文を確認し、ワークシートの質問に答え、ペアで確認する。	安藤百福や彼の商品についてまとめている。	・ペアワーク ・ワークシート
		「言語や文化についての知識・理解」			
		インスタントラーメンは世界の様々な国の食文化の中に普及・定着していることを知っている。	ワークシートにインスタントラーメンに関する、自分の考えや知っていることを書き、それをペアで発表し合う。	ワークシートを用いて自分の考えを書いている。	・ペアワーク ・ワークシート